令和４年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

しゅくなみ

No.２１
令和５年２月７日

《 １月往く　２月逃げる　３月去る 》

ついこの間3学期の始業式をしたように思うのですが、早いものでもう２月に入りました。先日の大寒波襲来などまだまだ寒い日は続きますが、２月４日は立春、暦の上では春を迎えます。新たな気持ちで進学、進級を迎えるために、今年度のまとめと来年度に向けた準備をしっかりと行っていきたいと思います。家庭や地域でも、励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

2月4日には、昨年度新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていたため中止した、参観日・ふるさと講演会を行うことができました。

この後の大きな行事としては卒業式が予定通り行えますよう、コロナ対策と併せてインフルエンザの感染予防に努めます。手洗いやうがいをこまめに行う、部屋の換気をする、感染リスクを上げないために密を避ける、健康管理をする、など日々の感染防止対策をしっかりしてまずは「持ち込まない」ようにしたいです。できる限りの対策をしつつ、可能な限り教育活動を止めないようにしたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《 学校教育活動の様子 》

《 ６年生 中学校登校＆入学説明会 》

１月２４日、３回目の６年生中学校登校と入学説明会が行われました。午前中２コマの授業と中学校生活についての講話、入学説明会の会場準備、給食を挟んで５時間目は保護者による授業参観、そして入学説明会という日程でした。授業は中学校の先生による国語、社会、保健体育の３教科でした。国語では言葉や語感に親しみをもてるよう「ひらがなポーカー」でカードを並べ替えて言葉を自由に作りました。社会は、（　）に地名と似た言葉を選んで文を完成させ、語呂合わせで楽しみながら地名を覚えていました。保健体育は、心と身体の健康を保つためのストレス対処法について学習しました。いずれの授業も、まずは自分の意見をもち、ペアやグループで話し合ったり確かめ合ったりしました。中学校での生活や学習は大きく変わります。服装などの約束事が増えたり、教科担任制や定期テストが始まったりします。この大きな変化は「中１ギャップ」と呼ばれ、その緩和に向けた取組の１つが中学校登校です。３回の中学校登校で、中学校生活のイメージはできてきたと思います。小学校生活残りの２ヶ月で進学に向けた準備にしっかりと取り組み、「小学校生活を仕上げ」た上で、自信をもって中学校へ進学してほしいと願っています。

《 楽しかったスキー教室！ 》

１月27日は、鉢伏高原へスキーに行ってきました。全校生を４つのチームに分け、チームごとに担任の先生とインストラクターの先生とで手厚く指導します。25日に大寒波による大雪警報が発令され、積雪量は十分でした。宿南小のスキー教室当日、ゲレンデは少し吹雪いていて、寒かったけれど、みんなとてもやる気満々で指導を受けました。初めてスキー板をはく子もいましたが、何度転んでも「楽しい」「楽しい、もっと滑りたい」とあきらめずにチャレンジを続け、上達したと聞いています。昨年はリフトにのるのが怖かった人も、「今年はこわくなかったよ」と教えてくれました。怪我や事故なく終わってよかったです。

《 ５年生　陶芸教室 》

１月３１日、講師の先生に来ていただき、陶芸に挑戦しました。手法は手びねりで、世界に一つだけの器をつくります。しっかり練った陶土で最初に底の部分を作ります。端を少し立ち上げて次の陶土を巻きつけやすくします。これを繰り返し、カップの形にしていきます。３人とも自分の作品の取り扱いがとても丁寧で、講師の先生が感心されていました。形ができたら、模様をつけたり、自分の好きな絵を描いたり、イニシャルをつけたりし、最後に持ち手をつけました。釉薬をつけて焼いていただくそうです。完成が楽しみです。

《 入学説明会を行いました 》

２月２日は、こども園の保護者に来ていただき、入学説明会を行いました。入学予定児童は7人ですが、長子のご家庭が少ないので、１年間の主な学校行事の他に、１年生担任から小学校での1日の暮らしについて、プレゼンテーションで説明しました。入学までにできるようになってほしいことや、入学までに準備をお願いしたいもの、健康管理など、お願いすることが多くなりましたが、疑問に思われたことを質問いただきながら会がすすみました。７人の新入生の入学が楽しみです。

《 ６年生　『卒業の書』１回目 》

2月3日、今年度も書道家の西野桃笠先生を講師としてお迎えして、６年生の『卒業の書』を指導いただきました。まず、１枚目を書いて、６人それぞれがその書を書こうと思った訳と書いた感想を述べます。次の人が前の人のよいところと気をつけるとよいところを伝えます。１枚目は自分が思ったように書きますが、友だちの助言と西野先生からの助言を受けて、枚数を重ねていきます。右上がりを意識することや中心を揃えること、始筆の重要性などなど、約２時間自分と向き合い、書と向き合いました。一人一人が、次書くときに直すところや気をつけるところを確認してから取り組み、書く度に上達していきました。この日の一番よい書を選び、１回目は終了です。次回は清書し、落款を自分の名前の下に押して、完成させます。